

直打用乳糖 **ダイラクトーズ®**

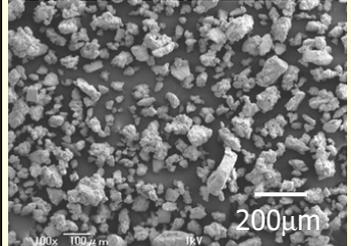
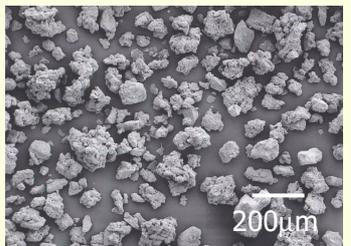
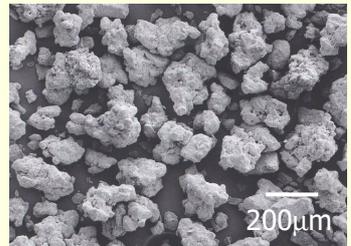
ダイラクトーズ®は、独自の流動層造粒法により開発された日本薬局方乳糖水和物(造粒した粉末)です。直接打錠用の賦形剤として有用です。



《ラインナップ》

粒径の違いにより3種類のタイプを取り揃えております。

※物性値は代表値であり、規格ではありません。

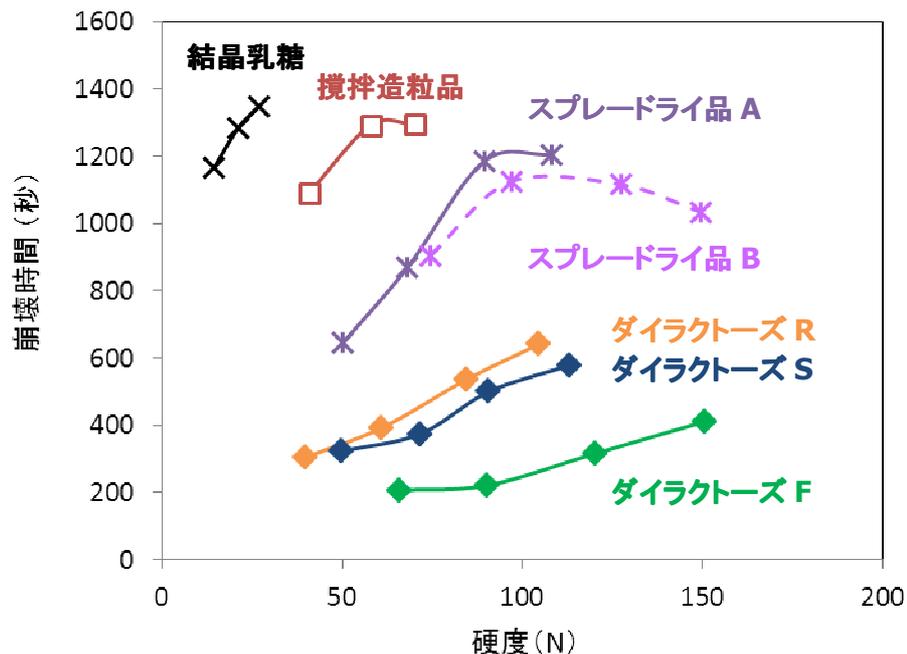
		ダイラクトーズ®F	ダイラクトーズ®S	ダイラクトーズ®R
規格		日本薬局方「乳糖水和物」 USP/NF Ph.Eur. 適合		日本薬局方「乳糖水和物」
粒度規格		180µm on 2%以下 180~53µm 50~80% 53µm pass 20~50%	355µm on 2%以下 355~75µm 50~70% 75µm pass 30~50%	500µm on 2%以下 500~75µm 80%以上 75µm pass 20%以下
物性値	粒度分布	D10 33 µm D50 64 µm D90 124 µm	51 µm 94 µm 169 µm	84 µm 171 µm 254 µm
	かさ密度	0.47 g/mL	0.55 g/mL	0.56 g/mL
	安息角	39°	38°	37°
SEM 写真				

《特長》



圧縮成形性と崩壊性のバランスが良い

攪拌造粒法により製造される乳糖は一般的に圧縮成形性に劣ります。一方、スプレードライ法により得られる乳糖は圧縮成形性に優れる反面、崩壊性に劣る傾向にあります。これに対して流動層造粒法により製造されるダイラクトーズはそれら両面に優れますので、硬度が高く崩壊の速い錠剤を得ることができます。



【処方】 各賦形剤：ステアリン酸マグネシウム＝100：1、混合時間：3 分間
 【打錠条件】 剤形：8φ-10R、200mg/錠、回転数：50rpm
 打錠圧：6、8、10、12kN
 (結晶乳糖：6、8、10kN、攪拌造粒品：8、10、12kN)



混合性、流動性に優れる

ダイラクトーズ S や F は粒子径が細かいにもかかわらず、非常に優れた流動性を有しています。これは製法に由来しており、微細な乳糖結晶同士も緻密に造粒されているためです。



保存安定性に優れる

スプレードライ乳糖のように吸湿性が高くありませんので、経時的にケーキングを生じる可能性は極めて低いです。